

製品名: MSH6 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82551**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	152.8kDa

抗原情報

遺伝子名	MSH6
別名	GTBP; HSAP; p160; GTMBP; HNPCC5
遺伝子 ID	2956.0
SwissProt ID	P52701
免疫原	大腸菌で発現したヒト MSH6 (AA: 374-540) の精製された組み換え断片。

背景

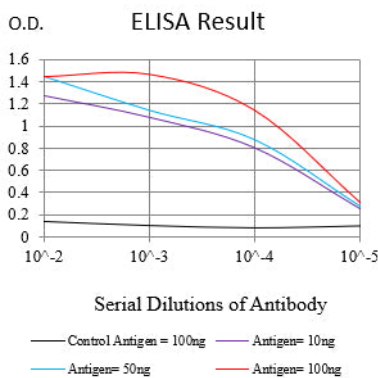
この遺伝子は、DNA ミスマッチ修復 MutS ファミリーのメンバーをコードしています。大腸菌において、MutS タンパク質はミスマッチヌクレオチドの修復前の認識を助けます。MutS ホモログには、ウォーカー A アデニンヌクレオチド結合モチーフと呼ばれる約

150 アミノ酸の高度に保存された領域が存在します。コードされているタンパク質は MSH2 とヘテロ二量体を形成し、ミスマッチ認識複合体を形成します。この複合体は、DNA ミスマッチの結合と解離に応じて ADP と ATP を交換する双方向分子スイッチとして機能します。この遺伝子の変異は、遺伝性非ポリポーシス大腸がん、結腸直腸がん、および子宮内膜がんに関連している可能性があります。異なるアイソフォームをコードする転写産物バリエーションが報告されています。

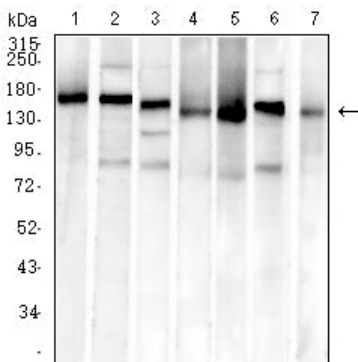
研究分野

-

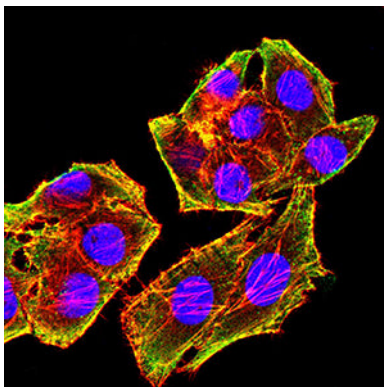
画像データ



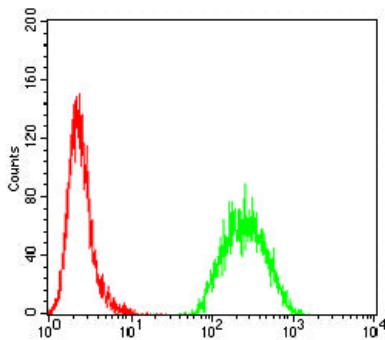
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



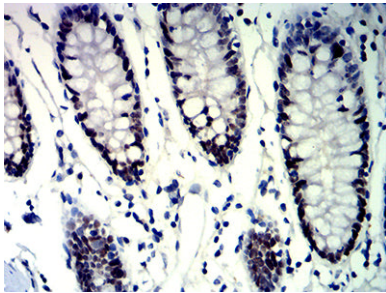
SH-SY5Y (1)、Hela (2)、PC-3 (3)、HCT116 (4)、HEK293 (5)、A549 (6)、および HepG2 (7)細胞溶解物に対する MSH6 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



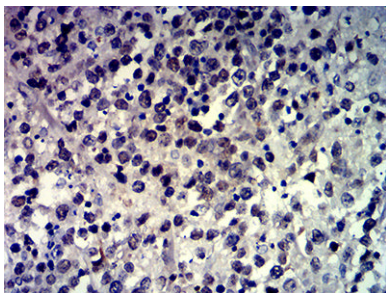
MSH6 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



MSH6 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



MSH6 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。



MSH6 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト脳腫瘍組織の免疫組織化学分析。